

故障かなと思ったら

まず次の点をもう一度お調べください。

- 1. 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
- 2. コントローラーの横P付コードが、コンセントからはずれていませんか？
- 3. コントローラーは、正しく設定されていますか？
 - 現在時刻を確認してください。
 - タイマー設定時刻を確認してください。
- 4. タイマー運転時間内ですか？
 - タイマー設定時刻を確認してください。
 - タイマー運転時間外であればコントローラーのモードを **Fe:On** にして送風機及び除湿機の運転を確認してください。
 - 確認後再びモードを **タイマー** に切替えてください。
- 5. コントローラーのモードが **停止** になっていませんか？

※エラー表示および詳細な設定方法はコントローラー付属の取扱説明書をご参照ください。

アフターサービス

補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年です。
●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外（例えば業務用など）に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

保証書について

- この製品には「保証書」がついています。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。

愛情点検



長年ご使用の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある
- 回転が遅い、または回転が不規則である
- 運転中に異常な音や振動がする
- 焦げくさい“におい”がする
- その他の異常がある

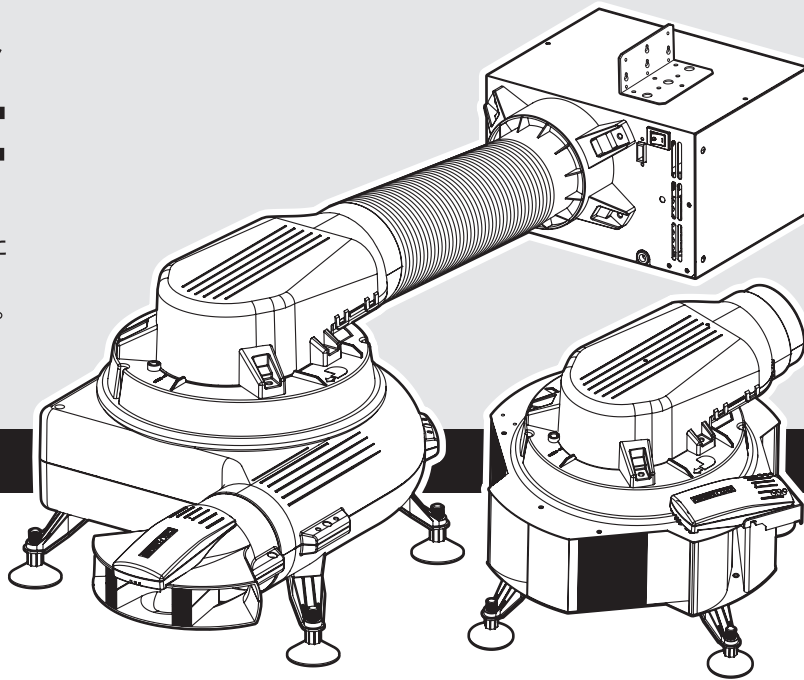
ご使用中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

■床下用電子除湿送風ユニット

取扱説明書

このたびは、床下用電子除湿送風ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。



セット内容

- 電子除湿機
 - 送風機（拡散型または攪拌型）
 - コントローラー
- (各1台)

目次

安全上のご注意	2
仕様	3
取付場所	4
各部の名称・外形寸法図・梱包内容	5
送風機の組立方法	6 / 7
ダクト工事に関する注意事項	8
ユニットの施工方法	8 / 9
配線および結線方法	10
工事完了後の点検	11
運転時のご注意	11
故障かなと思ったら	12
アフターサービス	12

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

このような絵表示は、しては
いけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」内容です。

警告

■仕様変更・改造・分解は絶対にしない。
火災・感電・けがの原因となります。

■製品を水や薬剤につけたり水をかけたりしない。
ショート・感電の恐れがあります。破損・変形・火災の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える
使い方や、交流100V以外で使用しない。
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。

■火気の近くでは使用はしない。
火災の原因となります。

■さだめられた場所以外で使用しない。
(本製品は床下専用です)

■取付工事および電気工事は
「電気設備技術基準」「内線規程」
に基づいて専門工事店が行なう。
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。

■さだめられた施工以外で使用しない。
火災・感電・けが及び故障の原因となります。

■台風時など床下浸水が予想されるような場合は
電源を切ってください。また、床下浸水などが
あった場合は部品の交換が必要です。
(お買い上げの販売店にご相談ください)

■アース線は必ず接地する。
火災・感電・けが及び故障の原因となります。

注意

■運転中は危険ですから本体内部に
指や物を入れない。
感電・火傷・けがの恐れがあります。

■製品の上に物を置かない。
破損・変形の原因になります。

■落とさない。
破損・変形の原因になります。

■水や薬剤につかるところや床下地面が
たえず水分をおびている住宅に取付けない。
ショート・感電・火災の原因になります。

■本体取付のときは必ず手袋などを着用する。
けがの恐れがあります。

■固定足を持って運んだり動かした
りしない。
破損・変形の原因になります。

■除湿機は水平・垂直(±1°)に取り付ける。
排水不良及び異常センサーの不良の原因になります。

フィトンチッドカートリッジに関するご注意

- 保管上の注意

■直射日光や高温の場所を避けて保管してください。

■幼児の手の届かないところに保管してください。
- 使用上の注意

■このカートリッジは必ず専用の機器で使用してください。その他の使用はしないでください。

■本品を分解しないでください。

■天然植物精油を使用していますので火気の近くでの使用は避けてください。

■万一、内容物がカートリッジの表面に付着していた場合は、よく拭き取って使用してください。

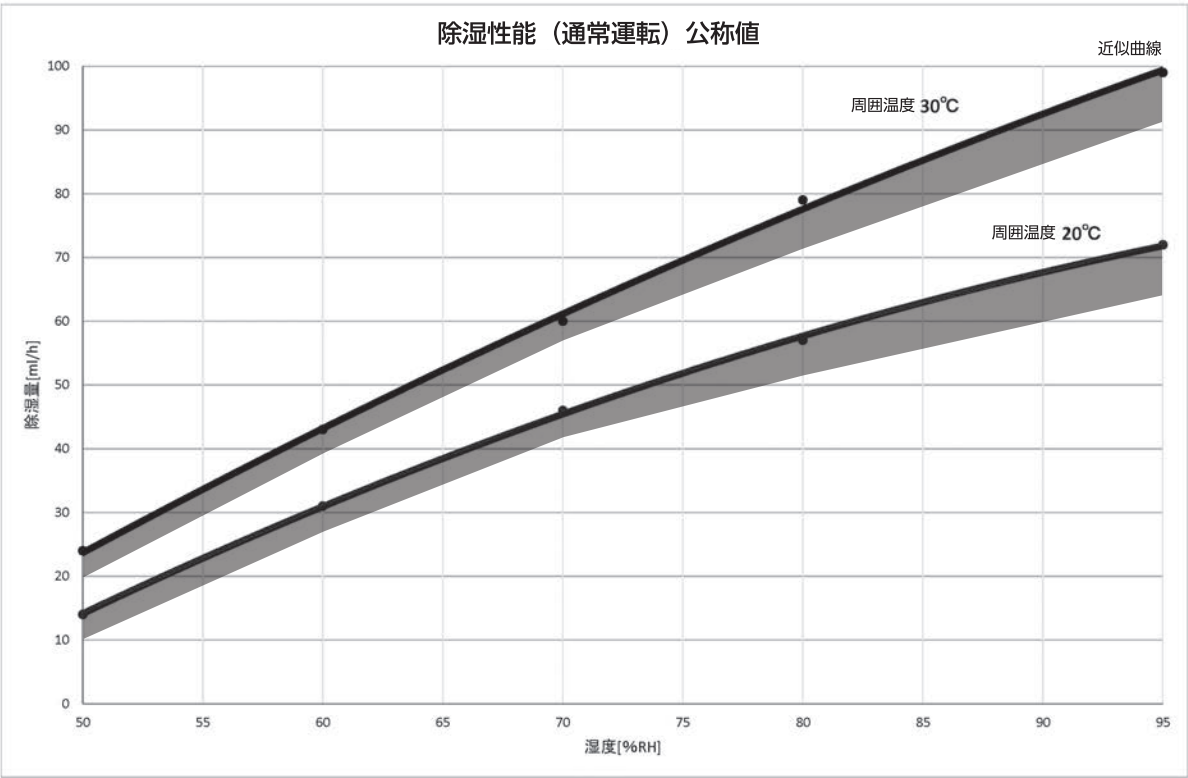
■万一、内容物が皮膚についた場合は石鹸などでよく洗ってください。

■使用済みのフィトンチッドカートリッジはプラスチックごみとして地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

仕様

電子除湿機	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力	235 [W] (通常), 130 [W] (弱運転)
	除湿能力	1800[ml/day] (通常), 672 [ml/day] (弱運転) (※4)
	除湿風量	132 [m³/h]
	騒音	50/48 [dB] (※1)
	質量	約 6.6 [kg] (※2)
送風機 (拡散型)	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力	26/30 [W]
	騒音	45/44 [dB] (※1) (※3)
	質量	約 3.2 [kg] (※2)
送風機 (攪拌型)	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力	26/30 [W]
	騒音	46/43 [dB] (※1) (※3)
	質量	約 3.8 [kg] (※2)

(※1) 吹出口から45° 1m地点で測定 (※2) 付属部品を除く (※3) 単体時 (※4) 周囲温湿度30℃/80%RH時の公称値

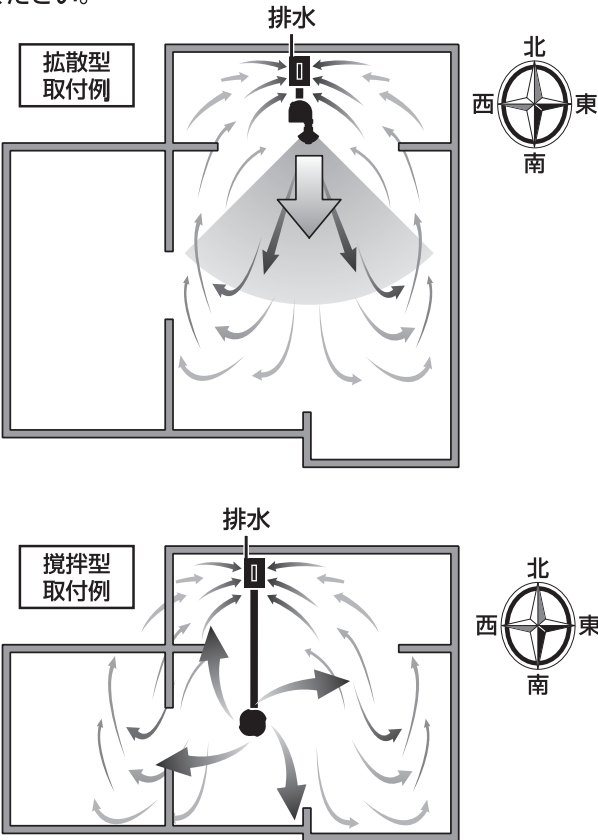


取付場所

ユニット

本来の効果を損なうことのないよう設置位置選定と使用方法に配慮してください。

- 床下の北側や中央部で風が、よく流れる位置に設けてください。
 - 湿気の多い場所や、水まわりの部屋付近に取り付けると効果的です。
 - 除湿機給気口の近くに物を置かないでください。除湿性能の低下や騒音の原因になります。
 - ※ 除湿機の上面以外の周囲空間は100mm以上空けるようにしてください。
 - 使用可能温度条件(−5℃~35℃)以外のところに取り付けしないでください。
 - 除湿機のドレンパイプが外へ配管できる様、外壁(北側)の近くに設置してください。
 - 除湿をする空間は室内や外からの空気の流入がない様、密封してください。
- (攪拌型送風機時基礎パッキング工法に床下中央部設置時は除く)
- ※最低床下高さ350mm以上
- ※ドレインポンプでの排水も可能です。
- 詳細は弊社ウェブサイト「ドライ・プロ」ページを参照ください。

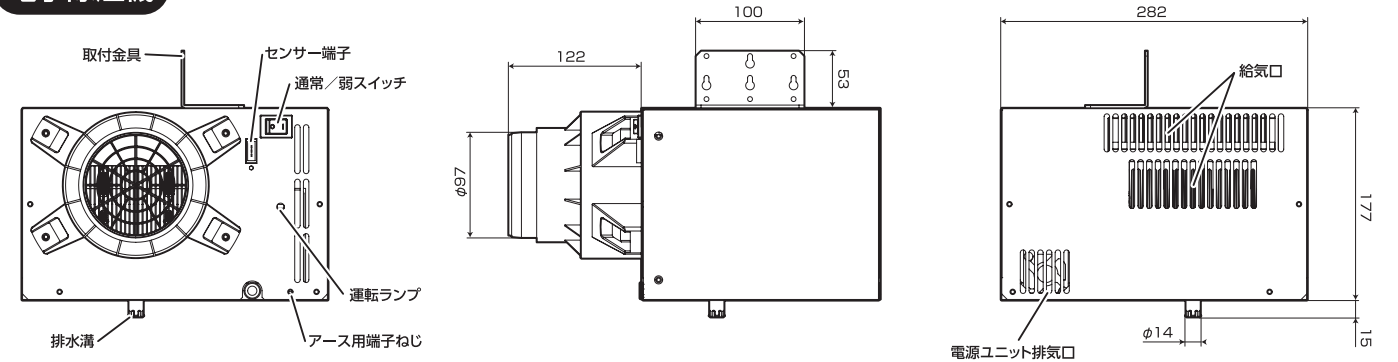


コントローラー

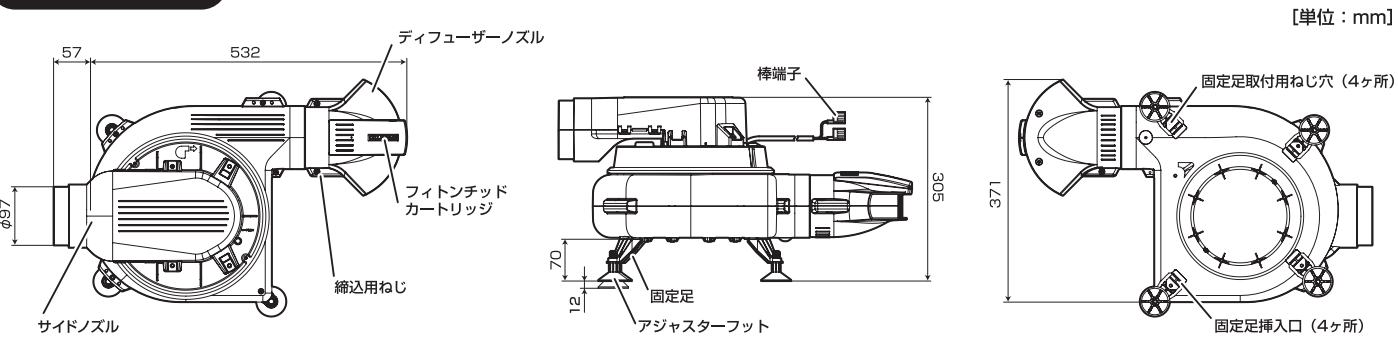
- コンセント付近の都合の良い柱、または壁に取り付けてください。
 - 除湿機を取り付けた近くの室内に取り付けてください。
 - VVFケーブル・通信ケーブルを床下から立ち上げられるような板張り、又は畳の部屋に取り付けてください。
 - 配線固定にはモールをご使用ください。
- ※詳細はコントローラーの取扱説明書を参照してください。

各部の名称・外形寸法図・梱包内容

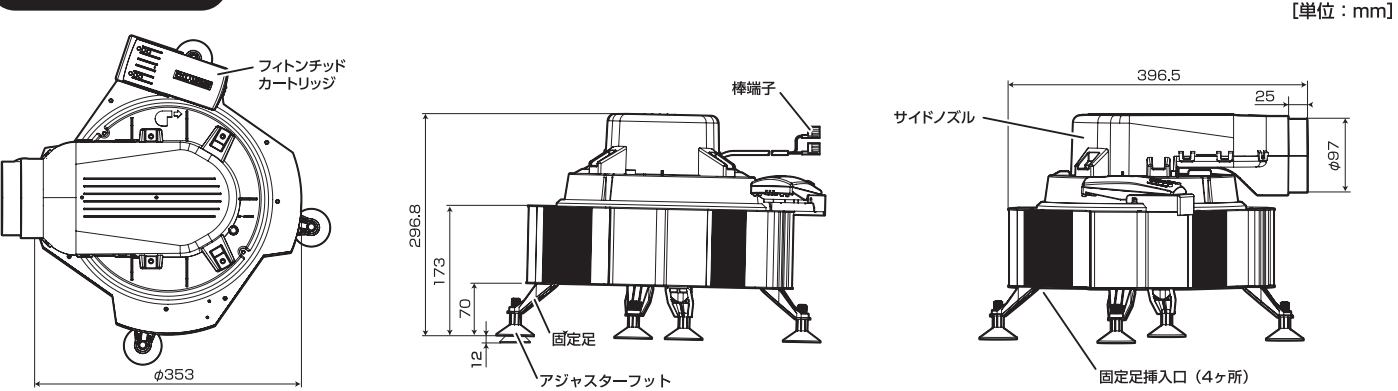
電子除湿機



除湿機専用 送風機(拡散型)

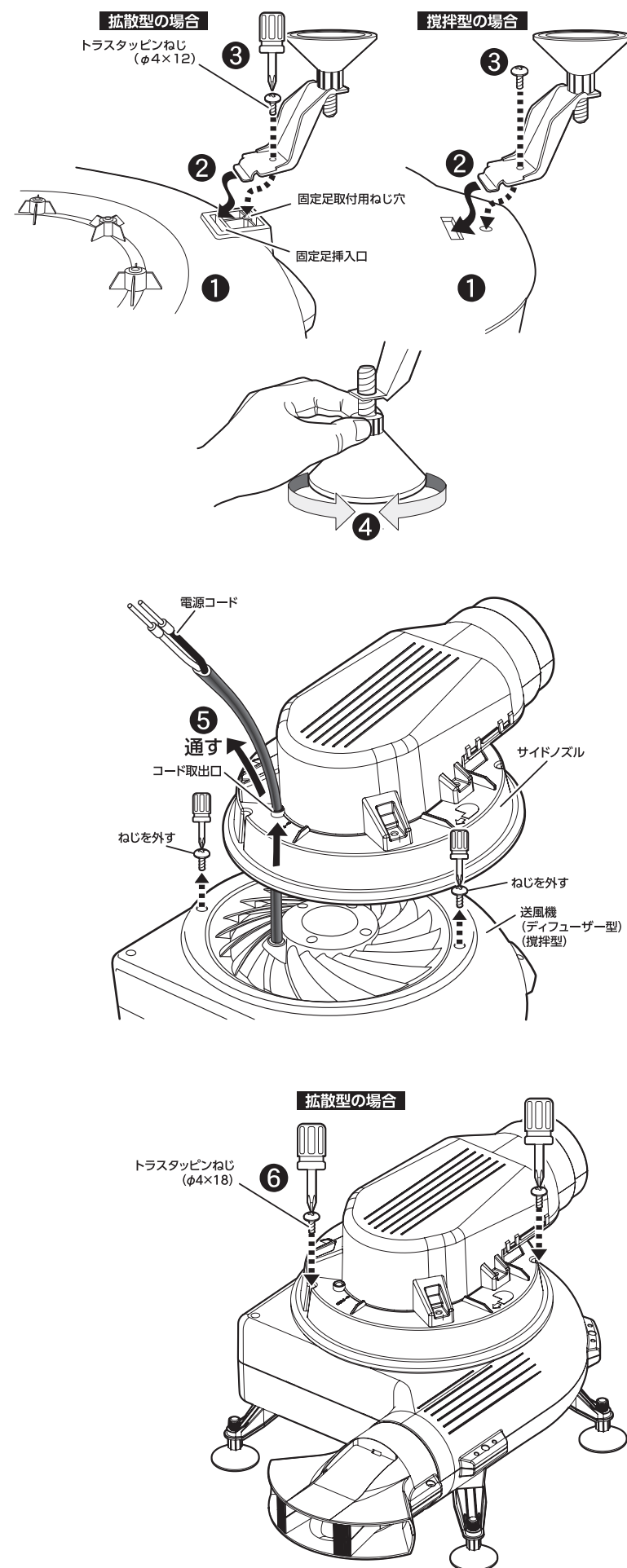


除湿機専用 送風機(攪拌型)

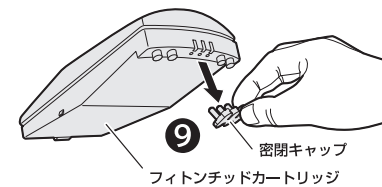
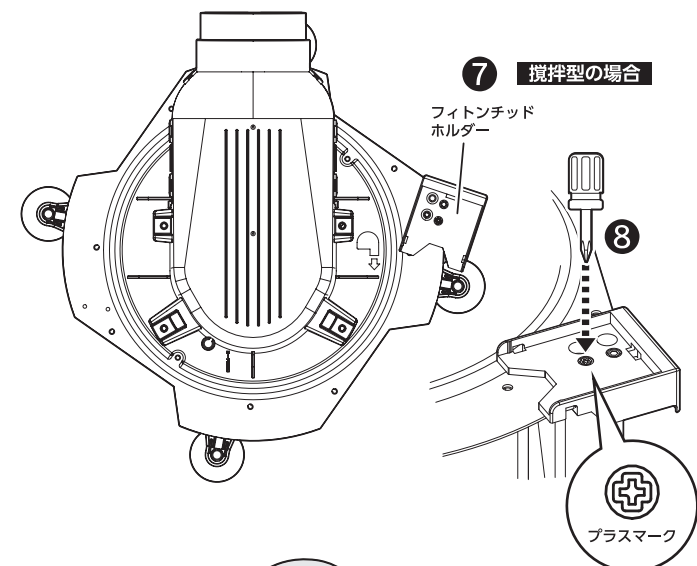
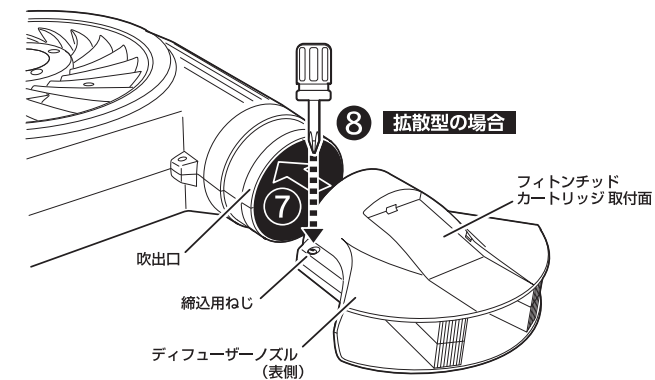


- 梱包内容
- 取扱説明書×1冊
 - 保証書×1枚
 - 電子除湿機×1台
 - 送風機×1台
 - サイドノズル×1ヶ
 - アルミダクト (φ100) 0.5~2m
 - フィトンチッドカートリッジ×1ヶ
 - コネクタキャップ×3ヶ
 - 固定足・アジャスターフット×4ヶ
 - コントローラー×1ヶ
 - センサーコード (10m)
 - アース線 (10m)
 - ドレンパイプ (1m)
 - パイプ抜け防止バンド
 - 防虫キャップ
 - アルミテープ×2本
 - 取付金具
 - ねじ類一式

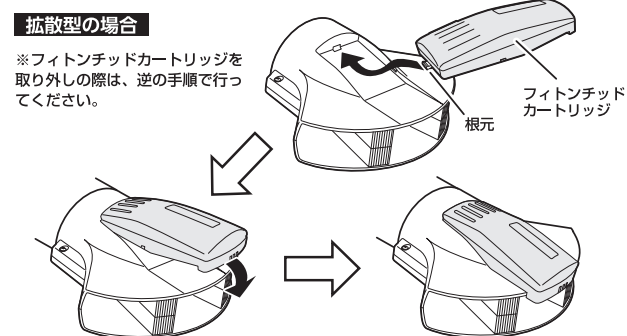
送風機の組立方法



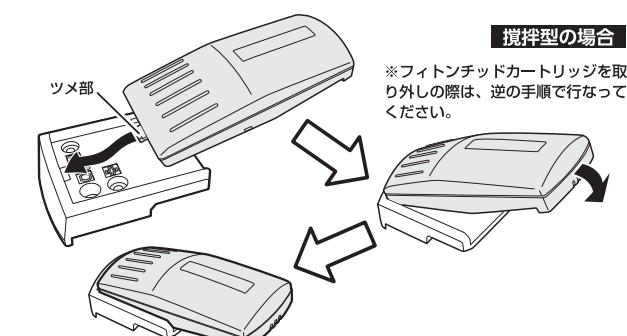
- 送風機本体を逆さまにし、底面を上にします。
注意 ●本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。
- 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差し込みます。
- 固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属のトラスタッピンねじ (φ4×12) で締め付け、固定します。
※②～③をくりかえして固定足を4ヶ所取り付けます。
注意 ●ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。
- 本体をもとにもどします。本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスターフットの高さを調整します。
※時計方向にまわすとアジャスターフットが下がり、反時計方向にまわすとアジャスターフットが上がります。
注意 ●地面が水平であるか確認して据置てください。
●据置く時はアジャスターフットの下に小石などがないことをご確認ください。
●固定足を持って運んだり、施工時に押ししたり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。
- 吸入口の固定ねじ2点を取り外します。(廃棄)
送風機の電源コードの棒端子を1本ずつサイドノズルのコード取出口から通します。
注意 ●電源コードや棒端子が変形や破損のないようご注意ください。
- サイドノズルを送風機に付属のトラスタッピンねじ (φ4×18) で締め付け、固定します。
注意 ●ねじの締め過ぎにご注意ください。



⑩ フィトンチッドカートリッジの取付方法



⑩ フィトンチッドカートリッジの取付方法



拡散型の場合

- 拡散型の場合
ディフューザーノズルを本体の吹出口に差し込みます。
フィトンチッドカートリッジ取付面を上にして取り付けてください。
注意 ●フィトンチッドカートリッジ取付面を上面にして差込んでください。
内容物がこぼれる恐れがあります。
●ディフューザーノズルを地面に対して水平にして取り付けてください。
- 拡散型の場合
ディフューザーノズルの締込用ねじを締め付け、固定します。
注意 ●ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

攪拌型の場合

- 攪拌型の場合
左図 (フィトンチッドホルダー取付図) を参照して、攪拌型送風機にフィトンチッドホルダーを取り付ける位置と取付用ねじ穴位置を確認します。
注意 ●攪拌型送風機の吸込口を下向きに取り付ける場合はフィトンチッドカートリッジは取り付けできません。フィトンチッドカートリッジが落下する恐れがあります。
- 攪拌型の場合
付属のトラスタッピンねじ (φ4×20) で締め付け、固定します。(プラスマーク側)
注意 ●ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。
適正締め付けトルク: 1.2~1.5N・m (12.2~15.3kgf・cm)
●必ず付属のねじで締め付けてください。攪拌型送風機に付いていたねじで締め付けると破損の恐れがあります。

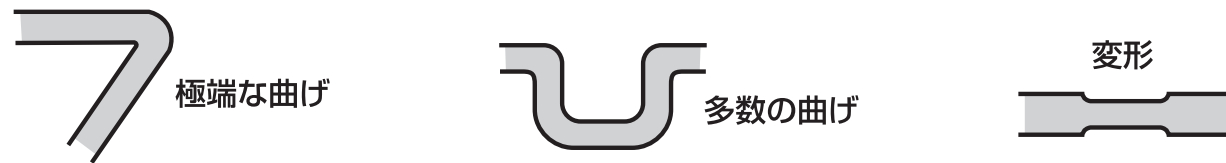
- 消臭用PDカートリッジの密閉キャップを外します。
※香りの量を調整する場合、密閉キャップで穴を2カ所または1カ所塞いでください。
- ディフューザーノズルにフィトンチッドカートリッジを取り付けます。
※フィトンチッドカートリッジの根元を差し込み、根元を支点に取り付けてください。
注意 ●確実に取り付けられていることをご確認ください。

※標準お試し版フィトンチッドカートリッジの効果は約3~4カ月です。
※交換用フィトンチッドカートリッジの効果は約1年です。
(送風機の使用環境によって異なります) カートリッジの交換の際は左図を参照してください。

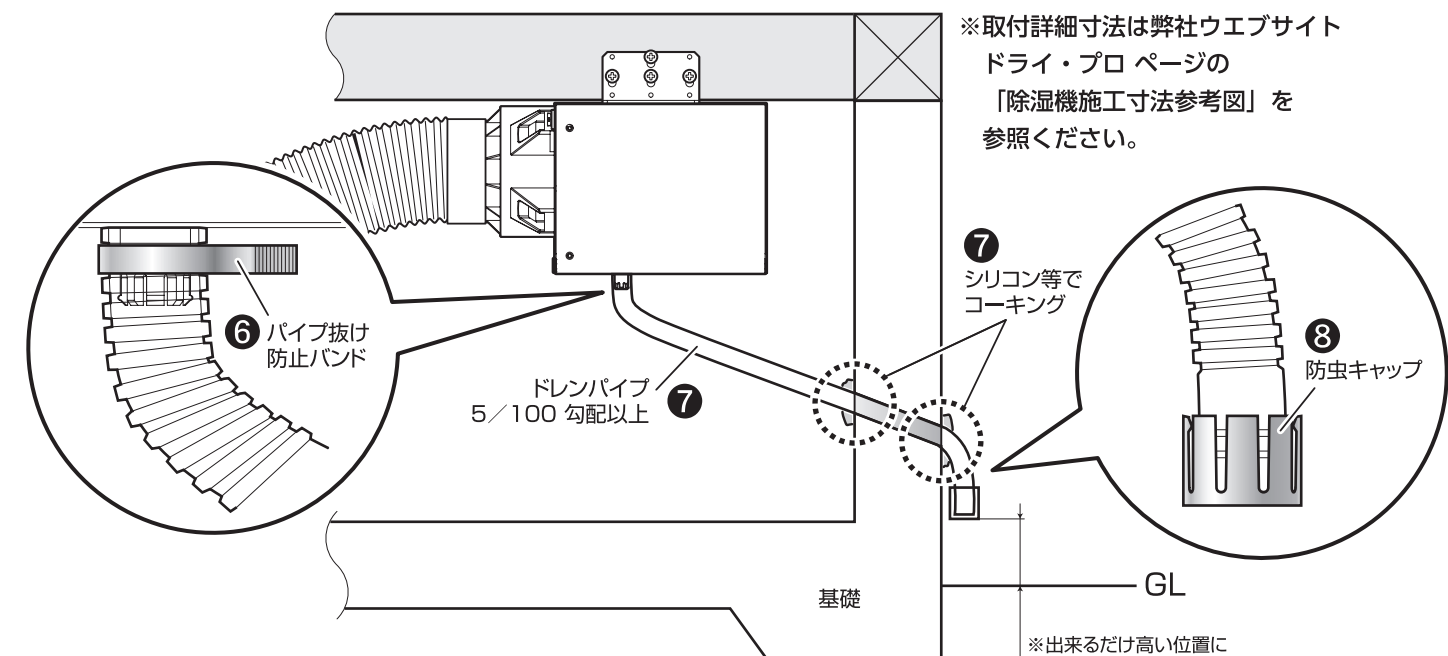
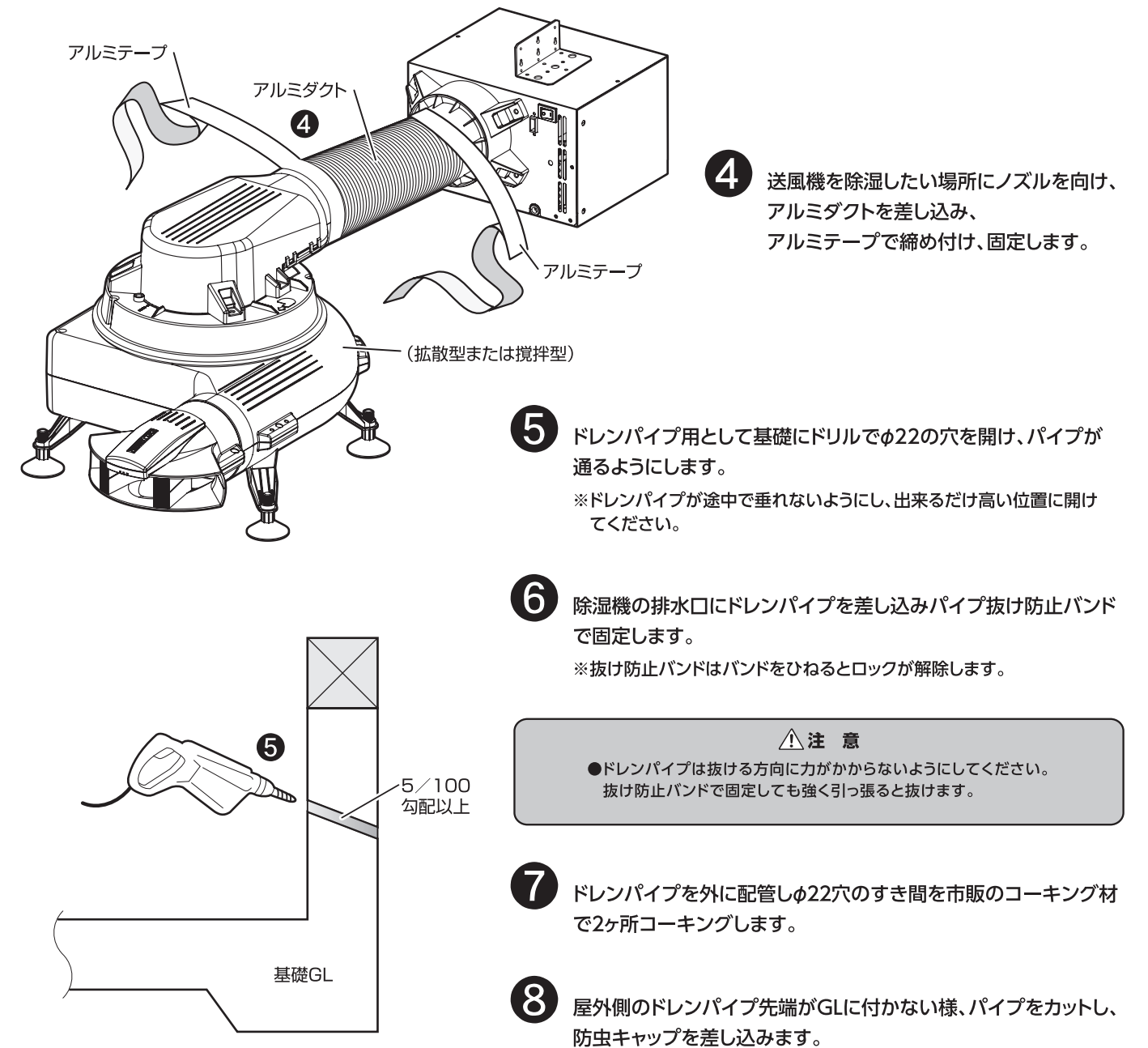
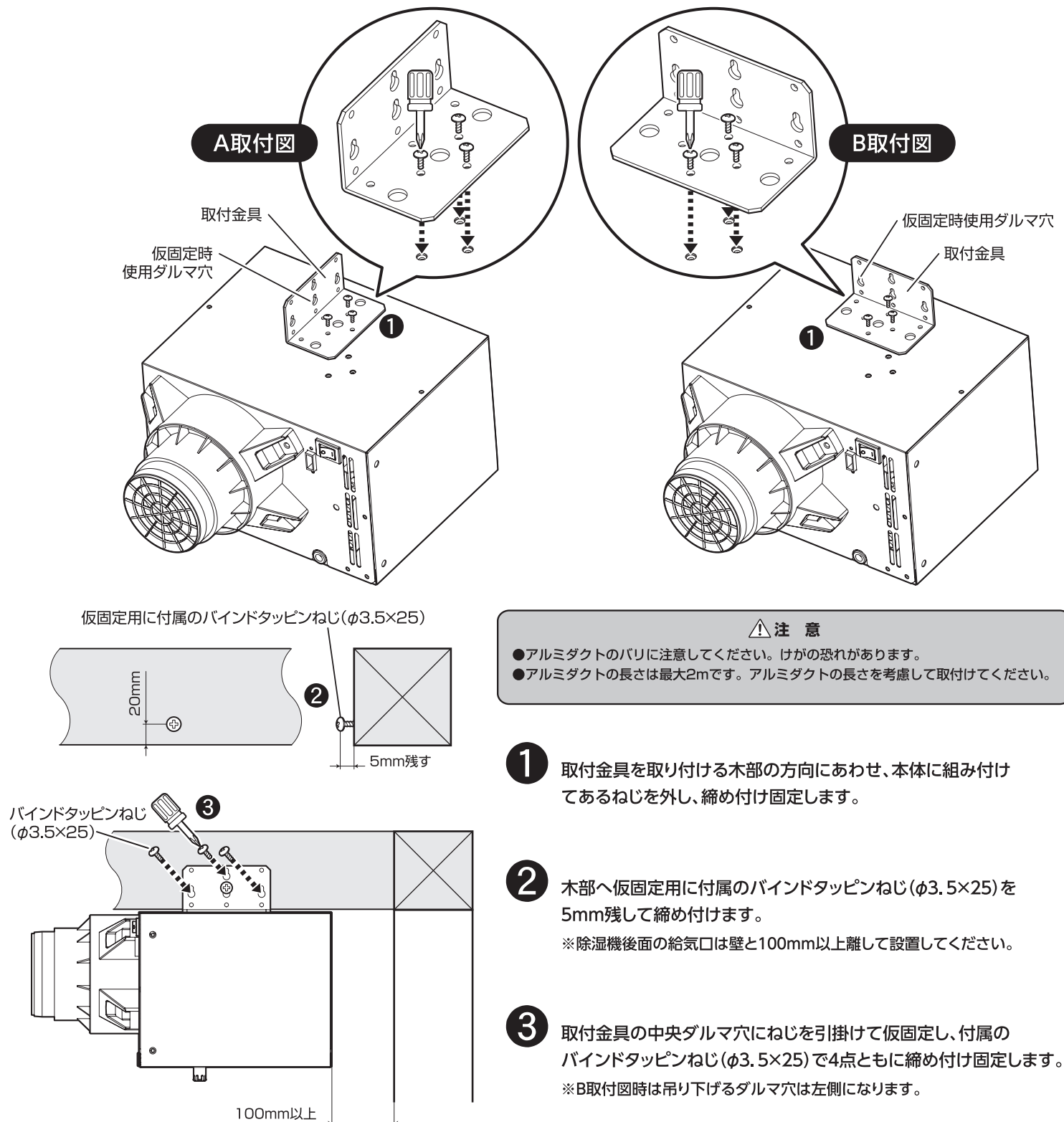
使用済みのフィトンチッドカートリッジはプラスチックごみとして地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

ダクト工事に関する注意事項

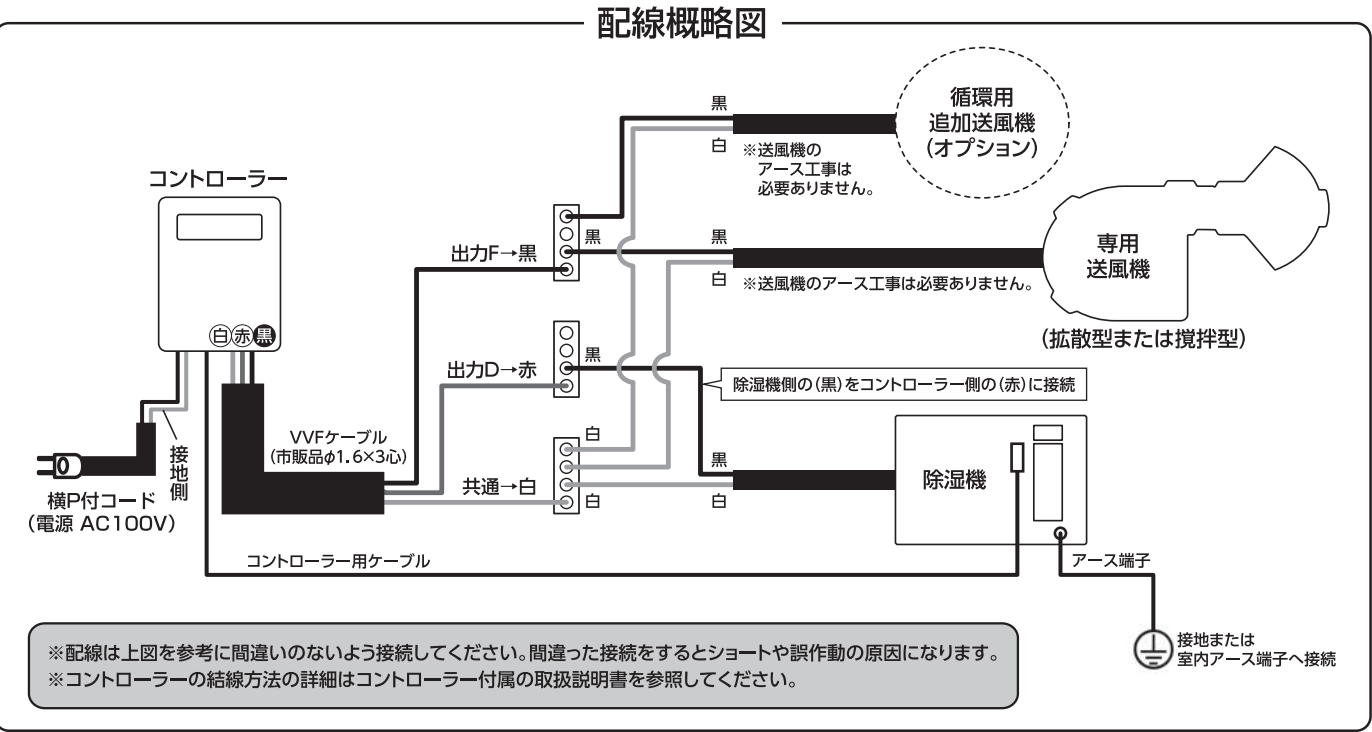
次のようなダクト工事はしないでください。（性能低下や騒音の原因になります）



ユニットの施工方法



配線および結線方法



工事完了後の点検

取付の確認

除湿機・送風機・アルミダクトおよびコントローラーが正しく取り付けられているか確認してください。

運転の確認

1. コンセントに横P付コードを差し込み、コントローラーのモードを **Fd:On** にして除湿機と専用送風機が正常に運転していることを確認してください。
※除湿中は除湿機本体の運転ランプが点灯します。
2. 除湿送風ユニットを運転している時に、振動音や異常音がないか確認してください。
※送風機ダクト周辺から「ピー」音がする場合、ねじの締め付け不足やテープの密着不足等で小さな隙間のないように対応してください。
3. コントローラーのモードを **F_:On** にして専用送風機のみ運転していることを確認してください。
※間違った配線を行った場合は正常に動作せず、故障の原因になります。
4. コントローラーのモードを **タイマー** (自動運転) にしてください。
※コントローラーの使用方法は、コントローラー付属の取扱説明書をご参照ください。

運転時のご注意

- 運転の確認時の除湿機は通常運転(I)で行ってください。
※通常 / 弱スイッチが「通常」になっている事を確認。
- 周囲環境が低温 (20℃以下) や低湿度 (60%RH以下) の場合、除湿水量は少なくなります。
また、除湿運転を続けていると周囲が乾燥し、除湿水量は少なくなります。
- 排水が出るまで30分～1時間程 (30℃, 80%RH時) かかる場合があります。
※ドレンパイプが長い場合さらに時間がかかります。
- 除湿機単体で運転はできません。必ず送風機を連動運転してください。
※除湿機単体で運転した場合、安全装置が動作し、自動解除するまで約1～2時間運転ができなくなります。
- タイマー運転 (自動運転) モード時は運転開始時の周囲温度が14℃以下の場合、送風機のみ運転します。
※タイマーモード (出荷時) は9:00～17:00自動運転します。
※低温時運転制御設定は11℃～30℃内で変更できます。
※低温制御時で送風機の運転は入 / 切の選択設定ができます。
- 本体ダクト周辺から「ピー」音がする場合、サイドノズルねじの締め付け不足、テープ密着不足で小さな隙間が空いて発生していますので、確実に締め付けや密着をさせて対応してください。
- コントローラー付属の取扱説明書もよくお読みになってご使用ください。

